

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	農業経営多角化支援事業			基本計画	章	産業振興
事業コード					節	農林業
課係名	農政課振興係	内線			項	農業の集団化と担い手の育成
担当者氏名		職名			細項目	経営体の育成

事業概要	農産物価格が低迷する中で、6次産業化や経営多角化は農業者の所得を向上させ、経営を安定化させる重要な取組みである。農産物の生産だけでなく加工による付加価値の付与や販路の拡大といった経営多角化の取組みが必要であり、この事業は取組みに必要な機械・施設等の整備を支援するものである。
------	---

現在の課題や市民要望など	6次産業化や経営多角化の取組みに必要な機械・施設等の整備を自主的に行うことが経済的に難しい。
--------------	--

事業目的	① 農業者の経営多角化による所得向上を図る ② ③ ④
------	--------------------------------------

個別取組	① 農業経営多角化支援事業補助金の交付 ③	② ④
------	--------------------------	--------

事業による改善・変更点	① 経営多角化に必要な機械・施設が整備される。 ③	② ④
-------------	------------------------------	--------

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

内容	① 6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受けた農業者 ③	② ④
----	---	--------

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

内容	① 農業経営多角化支援事業補助金の交付 ③	② ④
----	--------------------------	--------

支出根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令要綱等名称	① 農業経営多角化支援事業補助金交付要綱 ③ ② ④
------	--	---------	-------------------------------------

事業継続	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度:無期 <input type="checkbox"/> 複数年度:有期[ 始期 ~ 終期 ]	後年度負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
------	---	-------	--

事業費の積算	27年度	農業経営多角化に必要な施設・機械等の整備に対する補助 申請予定:1件 事業費合計:2,558千円 補助率 県 1/3以内、上限300万円(852千円) 市 県補助額の1/2以上(427千円)	事業費	1,279	事務スケジュール	年月	内容
			国 県	852		H27.6	交付要綱の制定
			市 債	0		7	事業計画提出
			その他	0		7	交付申請
	28年度	農業経営多角化に必要な施設・機械等の整備に対する補助 ※具体的な申請時期は現在不明	一般財源	427		8	交付決定
			事業費			8	事業着手
			国 県			H28.3	事業完了
			市 債			3	実績報告
	29年度	農業経営多角化に必要な施設・機械等の整備に対する補助 ※具体的な申請時期は現在不明	その他			3	交付確定
			一般財源	0		3	交付請求
			事業費			4	交付
			国 県				
		市 債					
		その他					
		一般財源	0				

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容	
金額	千円		

主要指標	指標の種類		計算法	目標(推計)値		
	名称			27年度	28年度	29年度
	■ 活動指標	①	累積交付件数	1	1	1
		②				
	■ 成果指標	①	所得の増加額(千円)	0	391	5,794
②						

## 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。</li> <li>・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	市として6次産業化を推進していく必要がある。担い手や後継者が減少している中、優良で意欲ある経営体を育成していくという市総合計画の趣旨に合致する。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図した成果は確実に得られるか。</li> <li>・類似の目的を持つ事業はないか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	国の認定を受けた総合化事業計画に基づく事業であり、事業の実施により農業者の経営多角化の取組が促進され経営の安定化や農業所得の向上が見込める。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	市が補助を行うことで、自主的な経営多角化の取組を支援できる。対象者が将来何件現れるか、現状では不明だが県等と連携しながら進めていくが、県の要綱が現段階では案のため、負担割合が確定していない。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今実施しなければならない理由。</li> <li>・実施しない場合の問題点。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	4月に県の要綱が改正され、「市が県の補助額の1/2以上を助成するものとする」旨が補助の要件に加わった。
	5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう市民要望があるのか。</li> <li>・受益者負担は適正か。</li> <li>・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	農業所得を向上させるためには、経営の多角化が重要であり、支援を求める要望がある。受益者負担、交付対象者は県補助金交付要綱に基づいており適切である。
	6. 同規模他市・周辺市町村の状況		
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	C	A. ほとんどの自治体で実施 B. 同規模以上の自治体は実施 C. ほとんど実施していない	県の要綱改正が4月1日付であり、まだ改正後の実施例はない。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	実施計画における位置付けはないものの、農産物の高付加価値化、6次産業の育成という方向性は、基本計画に位置付けられた「農業の集団化と担い手の育成」と一致している。但し、その財源については、既存事業の圧縮等により確保するものとする。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	6次産業化及び農産物の高付加価値化は、農業活性化の有効な対策であるため実施とする。但し、市の補助額の総額については予算の範囲内とする旨、交付要綱中に規定すること。
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	農業の活性化を図るうえで、6次産業化の推進は必要な取り組みであることから、補助による支援を実施するものとする。	